

蛭川新 蛭川新 國際法學者、法學博士。明治八年五月十五日静岡縣生

れ、昭和二十四年八月十七日歿（一八七二—一九五九）。明治二十四年東京帝

國大學法科大學卒。大藏省官吏、新聞記者を経て、日露戦争の國際法

顧問として従軍後、韓國宮内府勤務。のちパリに留學、歸國後同志社

大學、駒澤大學各教授歴任。

譯書に、ビスマルク著 普佛戦争 『軍中書翰（比斯麥が夫人に與ふるの書）』

（明治二十八年）二月（千八百國民書院）、『古き外人日本國民性』（大

正十年十月十六日拓殖新報社）等。著書『維新前後の政争と小栗上野

の死』（昭和二年九月十六日日本書院）、『九國條約無効』（昭和十

一年十一月十二日國民文化協會「國民文化叢書」）、『愛國者の道』

（合著・淡徳二郎編、昭和二十七年五月十五日青木書店「青木文庫」）、

『天皇—誰が日本民族の主人であるか』（昭和二十七年九月五日光文

社）、『擾亂の日本』（昭和二十七年十一月一日千代田書院）、『開

國の小栗上野介』（昭和二十八年八月十一日千代田書院）等。

